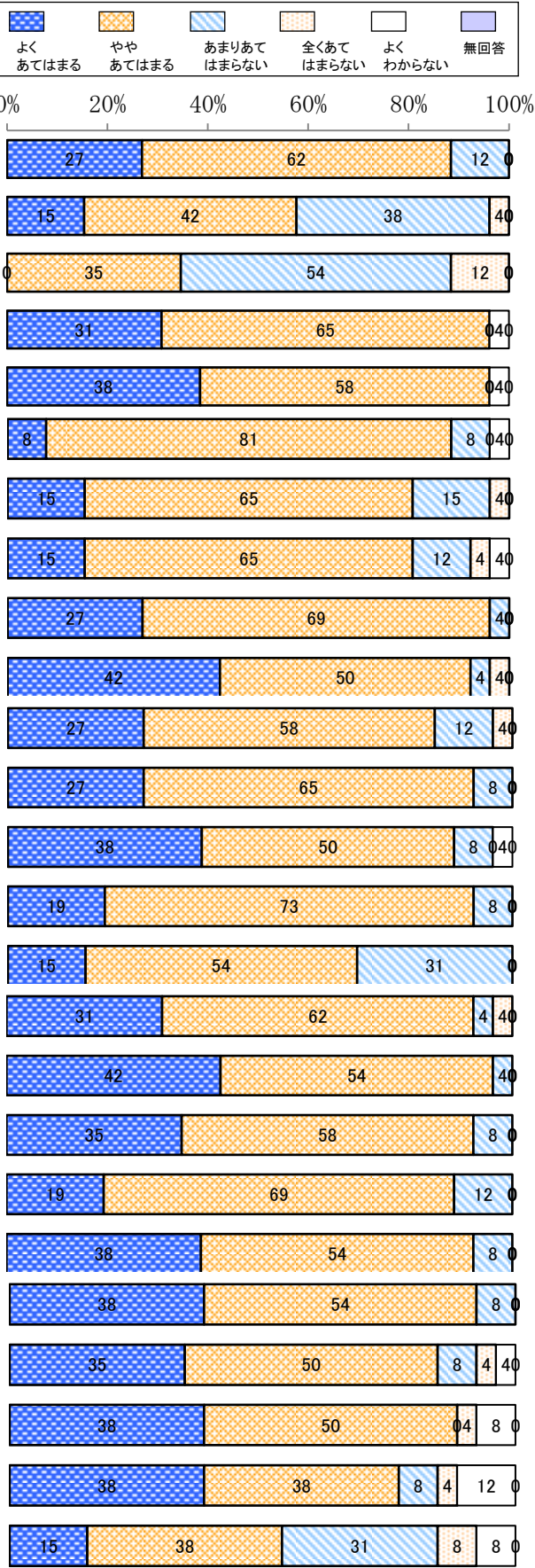


アンケートの結果			上段：児童 下段：保護者等 グラフ：教職員						
			A	B	C	D	よく分からない	無答	
学校全体の様子	1	教育目標・方針	児童・生徒や保護者等と共有できるように学校の教育目標を示し、方針を説明している。	8	15	7	1	2	66
	2	児童・生徒の様子	児童・生徒は、明るく素直で、生き生きとした楽しい学校生活を送っている。	17	55	18	2	7	0
	3	基本的生活習慣	児童・生徒の服装や通学態度、挨拶など基本的生活習慣がしっかりしている。	63	24	7	4	2	0
	4	児童・生徒理解	児童・生徒の良さや努力しているところを見つけ、励まし、理解しながら一人一人の能力を伸ばすように努めている。	24	58	13	3	2	0
	5	健康・安全・安心	児童・生徒の健康や安全（確保・対策）に配慮するとともに、主体的に行動できる防災教育を充実している。	45	38	12	3	3	0
学力向上の取組	6	分かる授業	楽しく分かりやすい授業が実践されている。	40	31	18	6	5	0
	7	個に応じた指導	習熟度別学習等、児童・生徒一人一人の理解の程度に応じた学習指導が行われている。	20	55	16	4	5	0
	8	学習習慣	放課後の補充指導等を行うとともに、家庭での学習課題を提示する等、学習習慣の定着を図る工夫をしている。	53	24	13	6	3	0
	9	情報教育	教育ネットワークや電子黒板など、ＩＣＴ機器を活用した教育を推進しながら、情報活用能力の育成に向けて取り組んでいる。	27	55	11	2	4	0
	10	学校図書館の活用	読書と学習に役立つ学校図書館として活用されている。	51	29	12	4	4	0
社会性・人間性の育成	11	人権教育	自他を大切にし、偏見や差別を許さない豊かな人権感覚を育てる教育を行っている。	18	58	13	3	9	0
	12	道徳教育	生命を大切にする気持ちや他人を思いやる心、善悪の判断や規範意識を育てる等、道徳性をはぐくむ教育を行っている。	51	28	10	5	5	0
	13	教育相談	教育相談を充実し、いじめや不登校を防止する等児童・生徒一人一人の居場所がある学校づくりに努めている。	19	47	18	4	13	0
	14	人間関係づくり	学校行事等の教育活動を工夫し、体験活動を充実させながら望ましい人間関係が築けるよう取り組んでいる。	62	20	9	5	3	0
	15	自治的な活動	学級活動や児童会・生徒会活動等で、児童・生徒が自発的・自治的に活動できるように工夫しながら指導している。	19	47	21	4	8	0
保護者・地域との連携	16	情報発信	学校便りや学年便り、学校ホームページ等で、保護者や地域の方に、学校の教育活動の様子を分かりやすく知らせている。	73	16	8	1	2	0
	17	相談への対応	児童・生徒や保護者からの連絡や相談を丁寧に受け止め、適切な対応をしている。	31	50	7	0	11	0
	18	学校への参加	学校公開週間や土曜授業日、学校行事等では、保護者や地域の方が参加しやすいように工夫している。	59	23	11	4	3	0
	19	地域との連携	地域の行事などに協力的で、連携を図っている。	44	42	8	1	5	0
	20	意見の反映	保護者や地域から寄せられた意見や要望を受け止め、学校運営と教育活動の改善に努めている。	56	31	9	1	3	0
各学校の特色ある教育	21	体力向上	朝遊びの時間や放課後の時間をつかって楽しく遊ぶことができた。	17	43	18	6	16	0
	22	AKDスポーツタイム	AKDスポーツタイムでは、体力向上を図るための運動に取り組んだ。	39	27	18	8	8	0
	23	英語活動	英語の時間楽しく授業に取り組むことができた。	42	18	11	16	13	0
	24	家庭学習	「家庭学習のすすめ」を活用し目標を決めて家庭学習に取り組むことができた。	12	44	19	7	17	0
	25	図書館活用	授業で調べ学習を行う時は図書館を使って学習できた。	72	17	6	3	2	0

無効票を除く(%)



無効票を除く(%)

学校の自己評価（考察）
平易な言葉で児童・保護者・教職員にも分かりやすい。具現化できるような色々な場面で啓発に努める。
児童・保護者が8割以上の達成評価を付けている。学校は子どもの可能性が伸びるようさらに充実させていく。
指導を続け少しずつ成果を上げているが、まだ十分ではない。更に具体的な手立てを講じ基本的生活習慣の定着を図る。
教職員は児童理解に努め、声かけを行っている。今後も児童理解を深め、相談・指導等を続けていく。
避難訓練や安全ステーション、同行下校等、保護者の学校に対する安全の認知度は少しずつ高まってきている。
児童と保護者は更に工夫をして授業を行っていくよう学校に期待している。教師は今後更に授業力向上に努め研鑽していく。
児童が意欲的に取り組めるよう、学校において個別の指導時間をより多く設定し指導の工夫を図っていく。
学習習慣の大切さは理解しているが、定着していない児童もいる。放課後時間の活用や家庭と連携して学習習慣の定着を図る。
電子黒板等を活用しての学習が増えてきた。更にパソコンや電子黒板を有効活用した授業を参観してもらいアピールしていく。
本校の特色である、図書館活用、読書活動への保護者の理解は大きい。今後も計画的に更なる活用がはかれるよう進めていく。
「あまりあてはまらない」を付けた保護者がいるので、理解が得られるよう計画的具体的に実践していく。
児童・保護者ともに評価は低い。今後は理解が得られるよう道徳の時間を中心に、全教育活動全体を通じて推進する。
教育相談の充実にも努めている。今後も「カウンセリング感覚」を生かし「相談室」の活用を含めた教育活動を推進していく。
地域の協力を得て体験活動を充実されている。今後も連携を深め、「かかわり」を大切にしていく。
特別活動の内容や学校での様子を伝え、参観を通して少しずつ理解が増えてきている。今後も自治的な態度と能力を育てていく。
各種通信を使って伝え広めることに努めている。今後は更に学校便りやホームページを充実させ学校教育を伝えていく。
全体の7割程度の理解にとどまっている。今後も、相談等には、迅速に対応する態勢をとっていく。
開かれた学校として理解されてきている。今後も保護者が参加しやすい内容の充実にも努めていく。
児童・保護者をもっと地域行事への参加を希望している。職員が地域に積極的に参加できるよう工夫していく。
相談の窓口は広く伝えているが、保護者の一部に「わからない」がいる。改善策を示し、取組の過程を伝えていく。
朝遊びについては、学校の取組を高く評価している。更なる参加を呼びかけ充実させ、伝えていく。
児童には、体力向上に向けての取組を意識させていく。保護者には理解が得られるよう今後も工夫した活動を続けていく。
児童、保護者の一部に理解されていない面がある。今後も、指導内容や環境づくり、英会話の日常化等を工夫していく。
評価はあまり高くない。「家庭学習のすすめ」のパンフレットを活用し家庭学習の習慣を身に付けさせ、定着を図っていく。
全体の7割程度の理解である。今後は環境づくりや教科と関連付けて学校図書館を活用し、学習を深め心を豊かにしていく。

